

# 博多とアジアの映画(94)

松浦 仁

1979(昭和54年)ジャッキー・チェンは四維公司(ロー・ウェイプロダクション)から香港最大手の映画製作会社、嘉禾電影有限公司(ゴールデン・ハーベスト)に移籍した。そして、最初に主演したのが「師弟出馬」(1980)だった。ジャッキー・チェンが1979年に設立した個人プロダクション、豊年影業公司(グッドイヤー・ムービー)で製作した「クレイジーモンキー 笑拳」(1979)に続く監督2作目で、原案、武術指導もジャッキー・チェンだった。

孤児のドラゴン(ジャッキー・チェン)とタイガー(ユン・ピョウ)は名門の武術道場である金龍道場のカン師範(ティエン・ファン)に拾われてカンフーを学び成長した。ところが、日頃からカン師範の厳しい修行に嫌気がさしていたタイガーは、恒例の威義道場との獅子舞対決で金につられて敵である威義道場の黒獅子を演じたのがばれて道場を追い出されてしまう。ドラゴンは、大悪党のキム(ウォン・インシク)の一味に加わったタイガーを改心させ、金龍道場に戻るように説得すべく旅に出て、強敵のキムと対決することになる…。

獅子舞や扇子、椅子などを使った斬新なアクションを数多く取り入れ、型

にはまったカンフー映画からの脱却をはかり、ラストにはジャッキー・チェンとウォン・イン・シクの20分にも及ぶ壮絶な格闘シーンがあつて、カンフー映画の最高峰を目指したジャッキー・チェン渾身のカンフー・アクション映画だった。香港では1980(昭和55年)2月に公開され、香港史上初の興行収入100万香港ドルを突破して年間興行成績第1位を獲得した。

日本では東宝東和が配給して、「ヤングマスター 師弟出馬」の邦題で1981(昭和56)年3月21日から東京で公開された。博多では3月30日から福岡東宝で公開された。日本版主題歌「さすらいのカンフー」(作詞 湯川れい子、作曲 宇崎竜童)をジャッキー・チェン自身が歌っている。

1981(昭和56)年、日本では「ドラゴンモンキー 酔拳」「スネ・キーモンキー 蛇拳」のヒットによりジャッキー・チェン主演の旧作「少林木人巻 Shaolin Wooden Men」(1976)が、「少林寺木人拳」という邦題で公開された。ジャッキー・チェンは、1976(昭和51)年に四維公司(ロー・ウェイプロダクション)と専属契約して、「新精武門 New First of Fury」(1976、2011年に邦題「レッド・ドラゴン 新・怒りの鉄拳」で日本公開)に初主演

し、2作目の主演作が「少林木人巻 Shaolin Wooden Men」だった。

ある事がきっかけで口がきけなくなった若者(ジャッキー・チェン)が、幼いころに殺された父親の仇を討つため、少林寺の門弟になる。そんなある日、洞窟の奥に鎖で繋がれたカンフーの達人に出会い、カンフーの奥義を伝授してもらう。敵しい修行を終えた若者は、動く木製人形が集団で襲いかかる少林寺最終関門「木人路」を見事クリアすると、仇敵を捜すため少林寺を後にする…。

ジャッキー・チェンが、四維公司(ロー・ウェイプロダクション)で最初に主演した「レッド・ドラゴン 新・怒りの鉄拳」(原題は「新精部門」)は、1972(昭和47)年に製作されたブルース・リー主演の「ドラゴン怒りの鉄拳」(原題は「精武門」)の続編としてロー・ウェイ監督が製作したのだが、嘉禾電影有限公司(ゴールデン・ハーベスト)の許諾を得ていなかったこともあり、興行的には失敗だった。そこで、ジャッキー・チェン主演第2弾として満を持して製作したのが「少林木人巻」だった。ロー・ウェイが総監督として全体を指揮し、「新・金瓶梅」(1977)をヒットさせた若手監督チェン・チーホワが撮影現場を仕切って、前作以上の作品に仕上

げようとした。ところが、1976(昭和51)年11月10日に香港で公開されると不評のため1週間で打ち切られた。

日本の映画配給会社は、ジャッキー・チェン人気沸騰の1981(昭和56)年において、たとえ香港で興行的に失敗だった旧作であってもジャッキー・チェンのカンフー映画ブレイクの波に乗って公開すれば収益が見込まれると考えたのだろう。小林木人巻は、東映セントラルフィルムが配給して「少林寺大木拳」という邦題で、1981(昭和56)年2月21日から「太陽のきずあと」との2本だてで全国同時に公開された。

「太陽のきずあと」(1981)は、若者のぶつけるところのない苛立ちと暴力を描いた邦画で、監督は「博多っ子純情」(1978)の曾根中生、主演は前年に公開した「拳精」(1980)の併映作品だった「不良少年」(1980)に続いて主演した金田賢一だった。

「少林寺大木拳」は、博多では2月21日から3月13日まで福岡東映で公開された。「太陽のきずあと」との2本だてだった。筑紫東映でも同じ期間、同じ併映作品とともに公開された。その後、福岡市内の以下の映画館でも公開された。

香椎セントラル4.4〜4.17「青春の門」

(1981、監督 蔵原惟善、深作欣二)との2本立て

ステーションシネマ5.9〜5.19

富士映劇 8.22〜8.28「スネ・キ

モンキー 蛇拳」クレージー

モンキー 笑拳」との3本立て

天神中央映劇 10.28〜11.1

1979(昭和54)年から1

981(昭和56)年にジャッキー

・チェン主演の映画が福岡市

内の映画館でどれくらい上映さ

れたのだろう。この3年間のジ

ヤッキー・チェン主演作は、博

多での初公開順に「トランクモ

ンキー 酔拳」(以下、酔拳)「ス

ネ・キーモンキー 蛇拳」(以下、

蛇拳)「クレージーモンキー 笑

拳」(以下、笑拳)「拳精」バトル

クリーク・ブロー」(以下、バトル

クリーク)「少林寺大木拳」ヤン

グマスター 師弟出馬」(以下、ヤ

ングマスター)の7作品だった。

すべての作品は、まず中洲の東

映、東宝の直営館で封切られた

後に、福岡市内の二番館や名画

座でも上映された。

1979(昭和54)年

東映パラス「酔拳」9.25〜10.12

福岡東映「蛇拳」11.29〜12.21

1980(昭和55)年



福岡東映「酔拳」2.23〜3.14

駅前東映「酔拳」2.23〜2.27

福岡東映「笑拳」4.19〜5.23

ステーションシネマ「酔拳」6.7〜6.13

福岡東映「拳精」6.14〜7.11

東映パラス「笑拳」蛇拳」拳精」7.12〜7.31

福岡東宝「バトルクリーフ」9.6〜10.17

1981(昭和56)年

ステーションシネマ「バトルクリーフ」1.15〜1.24

福岡東映「少林寺大木拳」2.21〜3.13

筑紫東映「少林寺大木拳」2.21〜3.13

西新アカデミー「バトルクリーフ」3.4〜3.13

ステーションシネマ「笑拳」3.14〜3.20

福岡東宝「ヤングマスター」3.30〜4.24

香椎セントラル「少林寺大木拳」4.4〜4.17

箱崎東映「蛇拳」笑拳」拳精」5.16〜5.22

香椎セントラル「笑拳」蛇拳」6.6〜6.12

富士映劇「蛇拳」笑拳」少林寺大木拳」8.22〜8.28

箱崎東映「笑拳」蛇拳」9.13〜9.18

福岡東映「酔拳」笑拳」蛇拳」10.24〜11.6

天神中央映劇「少林寺大木拳」10.28〜11.1

筑紫東映「蛇拳」酔拳」笑拳」11.25〜12.4

天神中央劇場「笑拳」12.2〜12.6

次号に続く

Ⅱ 図版は、「ヤングマスター 師弟出馬」

馬

## 博多とアジアの映画 (94)

松浦 仁

1979(昭和54)年、ジャッキー・チェンは四維公司(ロー・ウェイプロダクション)から香港最大の映画製作会社、嘉禾電影有限公司(ゴールデン・ハーベスト)に移籍した。そして、最初に主演したのが「師弟出馬」(1980)だった。ジャッキー・チェンが1979年に設立した個人プロダクション、豊年影業公司(グッドイヤー・ムービー)で製作した「クレイジーモンキー 笑拳」(1979)に続く監督2作目で、原案、武術指導もジャッキー・チェンだった。

孤児のドラゴン(ジャッキー・チェン)とタイガー(ユン・ピョウ)は名門の武術道場である金龍道場のカン師範(ティエン・ファン)に拾われてカンフーを学び成長した。ところが、日頃からカン師範の敵しい修行に嫌気がさしていたタイガーは、恒例の威義道場との獅子舞対決で金につられて敵である威義道場の黒獅子を演じたのがばれて道場を追い出されてしまう。ドラゴンは、大悪党のキム(ウォン・インシク)の一味に加わったタイガーを改心させ、金龍道場に戻るように説得すべく旅に出て、強敵のキムと対決することになる…。

獅子舞や扇子、椅子などを使った斬新なアクションを数多く取り入れ、型

カン  
スト  
・イ  
格闘  
最高  
渾身  
た。一  
月に  
100万  
第1  
東宝  
師弟  
年  
博多  
され  
ンフ  
竜童  
って  
(昭和  
「の  
主演  
odel  
「人拳  
キー  
に四  
ロダク  
ション」  
武門 New First  
2011年に邦  
新・怒りの鉄拳」

げようとした。ところが、1976(昭和51)年11月10日に香港で公開されると不評のため1週間で打ち切られた。

日本の映画配給会社は、ジャッキー・チェン人気沸騰の1981(昭和56)年において、たとえ香港で興行的に失敗だった旧作であってもジャッキー・チェンのカンフー映画ブレイクの波に乗って公開すれば収益が見込まれると考えたのだろう。小林木人巻は、東映セントラルフィルムが配給して「少林寺大木拳」という邦題で、1981(昭和56)年2月21日から「太陽のきずあと」との2本だてで全国同時に公開された。

「太陽のきずあと」(1981)は、若者のぶつけるところのない苛立ちと暴力を描いた邦画で、監督は「博多っ子純情」(1978)の曽根中生、主演は前年に公開した「拳精」(1980)の併映作品だった「不良少年」(1980)に続いて主演した金田賢一だった。

「少林寺大木拳」は、博多では2月21日から3月13日まで福岡東映で公開された。「太陽のきずあと」との2本だてだった。筑紫東映でも同じ期間、同じ併映作品とともに公開された。その後、福岡市内の以下の映画館でも公開された。

香椎セントラル4.4〜4.17「青春の門」

(1981、監督 蔵原惟善、深作欣二)との2本立て

ステーションシネマ5.9〜5.19

富士映劇8.22〜8.28「スネ・キー

モンキー 蛇拳」クレージー

モンキー 笑拳」との3本立て

天神中央映劇10.28〜11.1

1979(昭和54)年から1

981(昭和56)年にジャッキー

・チェン主演の映画が福岡市

内の映画館でどれくらい上映さ

れたのだろう。この3年間のジ

ヤッキー・チェン主演作は、博

多での初公開順に「トランクモ

ンキー 酔拳」(以下、酔拳)「ス

ネ・キーモンキー 蛇拳」(以下、

蛇拳)「クレージーモンキー 笑

拳」(以下、笑拳)「拳精」バトル

クリーク・フロー」(以下、バトル

クリーク)「少林寺大木拳」ヤン

グマスター 師弟出馬」(以下、ヤ

ングマスター)の7作品だった。

すべての作品は、まず中洲の東

映、東宝の直営館で封切られた

後に、福岡市内の二番館や名画

座でも上映された。

1979(昭和54)年

東映パラス「酔拳」9.25〜10.12

福岡東映「蛇拳」11.29〜12.21

1980(昭和55)年



福岡東映「酔拳」2.23〜3.14

駅前東映「酔拳」2.23〜2.27

福岡東映「笑拳」4.19〜5.23

ステーションシネマ「酔拳」6.7〜6.13

福岡東映「拳精」6.14〜7.11

東映パラス「笑拳」蛇拳」拳精」7.12〜7.31

福岡東宝「バトルクリーフ」9.6〜10.17

1981(昭和56)年

ステーションシネマ「バトルクリーフ」1.15〜1.24

福岡東映「少林寺大木拳」2.21〜3.13

筑紫東映「少林寺大木拳」2.21〜3.13

西新アカデミー「バトルクリーフ」3.4〜3.13

ステーションシネマ「笑拳」3.14〜3.20

福岡東宝「ヤングマスター」3.30〜4.24

香椎セントラル「少林寺大木拳」4.4〜4.17

箱崎東映「蛇拳」笑拳」拳精」5.16〜5.22

香椎セントラル「笑拳」蛇拳」6.6〜6.12

富士映劇「蛇拳」笑拳」少林寺大木拳」8.22〜8.28

箱崎東映「笑拳」蛇拳」9.13〜9.18

福岡東映「酔拳」笑拳」蛇拳」10.24〜11.6

天神中央映劇「少林寺大木拳」10.28〜11.1

筑紫東映「蛇拳」酔拳」笑拳」11.25〜12.4

天神中央劇場「笑拳」12.2〜12.6

次号に続く

Ⅱ 図版は、「ヤングマスター 師弟出馬」

馬